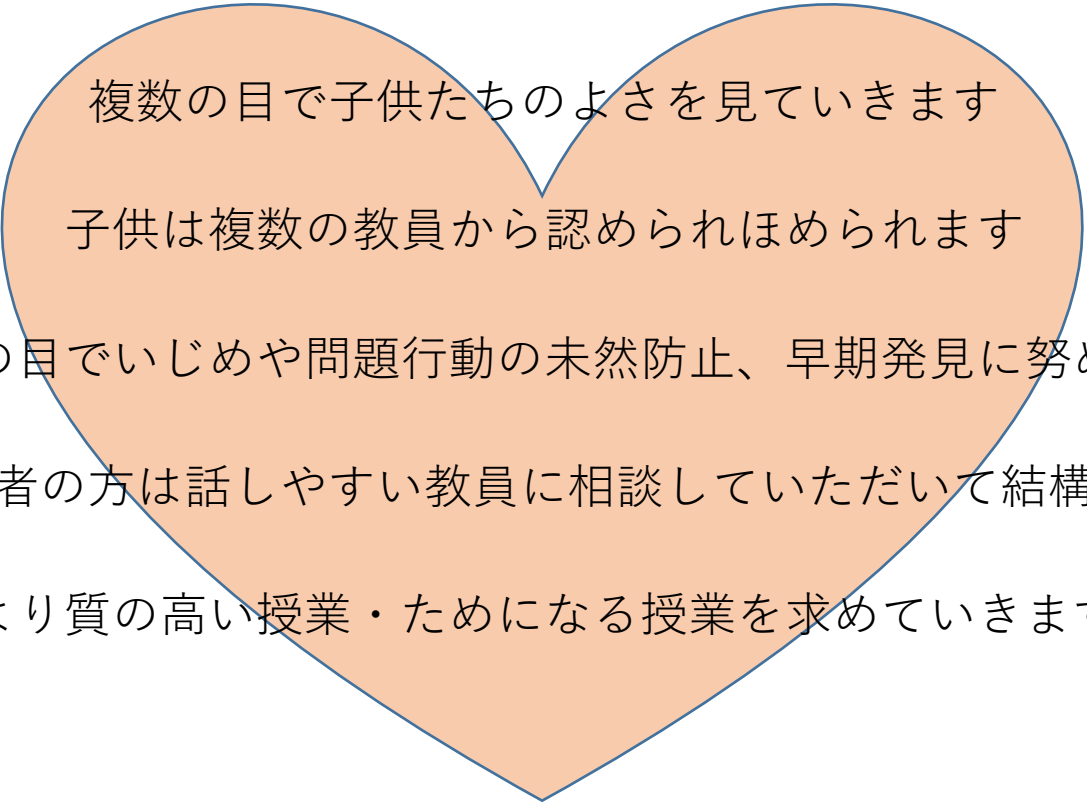


学年担任制とは

これまでは学級担任が一つの学級の全て請け負うかたちで1年間を過ごしてきました。これからは教師の専門性を生かした「**一部教科担任性**」を取り入れるとともに、朝の会と給食の時間を交代しながら行う「**HR交換担任性**」を取り入れていきます。このふたつを合わせ学年担任で連携をはかることを**学年担任制**としています。



複数の目で子供たちのよさを見ていきます

子供は複数の教員から認められほめられます

複数の目でいじめや問題行動の未然防止、早期発見に努めます

保護者の方は話しやすい教員に相談していただいて結構です

より質の高い授業・ためになる授業を求めています

学年担任制の メリット

一部教科担任制

- ・教師の専門性をこれまでより生かすことができるため、子供たちは楽しい授業わかりやすい授業を受けることができる。
- ・教師にとっては教材研究を絞ることが出来る分、子供たちと向き合う時間が生まれる。
- ・教師は同じ授業を 3 回繰り返すため指導の工夫を加えていくことができ、授業力の向上につながる。

HR 交換担任性

- ・独りよがりになりがちな学級指導，給食指導を修正することが可能となる。
- ・子供の姿を通して自分の指導に取り入れるべきポイントを体感し，改善向上を図ることが可能となる。
- ・担任に極度に依存していたアレルギー対応や特別支援対応など，担任不在であっても同等の対応をすることができるようになる。
- ・学年全部の子供たちの顔と名前、性格や個性について実感を伴って把握できるため、生活指導上の問題など担任と同じレベルで対応することができる。
- ・子供にとって三人の先生と顔見知りになるので、相談しやすい対象が増える。
- ・保護者の方も、学年担任の中の話しやすい教員に相談できる。
- ・複数の目があることで子供たちの多面的なよさの見取りが可能になる。
- ・学習規律の乱れの未然防止,問題の早期発見早期対応が可能となる。